『medicina』第59巻　総目次

2022年　第1号～第13号

（数字は頁数，（　）は号数を示す．4号（増刊号）は11頁以降に掲載．）

【特集】

■ クリニカルクエスチョンで学ぶ糖尿病治療薬―糖尿病治療の新しい潮流

〈座談会〉

糖尿病の薬，どう選ぶ？
…津村　和大・野見山　崇・矢部　大介　18（1）

〈糖尿病の指導と治療の基本〉

糖尿病の指導と治療……津村　和大　26（1）

健康な人と変わらない人生……津村　和大　29（1）

糖尿病治療の設計図とタイムライン
……津村　和大　32（1）

糖尿病の指導と治療の支援ツール
……津村　和大　35（1）

〈カテゴリー別・糖尿病治療薬の特徴〉

ビグアナイド薬……中村　昭伸　38（1）

チアゾリジン薬……中村　昭伸　42（1）

スルホニル尿素薬（SU薬）……松橋　有紀　46（1）

速効型インスリン分泌促進薬（グリニド薬）
……松橋　有紀　50（1）

DPP-4阻害薬……松橋　有紀　54（1）

α-グルコシダーゼ阻害薬……野見山　崇　58（1）

SGLT2阻害薬……野見山　崇　62（1）

インスリン
…平田はるか・窪田　創大・矢部　大介　68（1）

GLP-1受容体作動薬
…平田はるか・窪田　創大・矢部　大介　74（1）

ミトコンドリア機能改善薬……遅野井　健　80（1）

〈現場の疑問を解決―薬物治療編〉

Question 1　一般的な2型糖尿病における処方開始のタイミングとは？
……藤谷　淳・柴田　大河　84（1）

Question 2　第一選択となる糖尿病治療薬とは？
……藤谷　淳・柴田　大河　88（1）

Question 3　2剤目・3剤目を追加するまでの期間設定をどう決める？
……藤谷　淳・柴田　大河　92（1）

Question 4　インスリン治療に移行するタイミングは？……下野　大　96（1）

Question 5　外来インスリン導入の設計図：基礎補充から？　摂食時補充から？……下野　大　98（1）

Question 6　メトホルミンの処方を控えるべき高齢者とは？……和泉　清拓　101（1）

Question 7　メトホルミンの至適用量とは？
……臼井　亮太　104（1）

Question 8　SGLT2阻害薬：使用する優先順位は？
……下野　大　108（1）

Question 9　SGLT2阻害薬は心不全併存例では必須なのか？……下野　大　111（1）

Question 10　配合薬を使ううえで注意すべき点は？
……津村　和大　114（1）

Question 11　心臓・肝臓・腎臓の機能が低下しているときの薬物選択とは？……柴田　大河　116（1）

Question 12　造影剤を使用する検査時での糖尿病治療薬の調整方法は？……原口　卓也　120（1）

Qusetion 13　シックデイにおける糖尿病治療薬の調整方法は？……田中　永昭　124（1）

Question 14　緩徐進行1型糖尿病の治療薬選択は？
……柴田　大河　128（1）

Question 15　妊娠希望の女性に対する薬物治療のポイントは？……柴田　大河　131（1）

Question 16　介護施設入所中の糖尿病患者における注意点とは？……津村　和大　134（1）

〈現場の疑問を解決―療養指導編〉

Question 1　糖尿病診療での一般的な通院間隔とは？
……赤司　朋之　136（1）

Question 2　糖尿病専門医が「紹介していただきたい」と考える状態や疾患とは？
……奈良　光彦・脇　裕典　140（1）

Question 3　糖尿病診療の地域連携を発展させるコツとは？……津村　和大　144（1）

Question 4　糖尿病患者への糖負荷試験は必要か？
……阿部　咲子・脇　裕典　146（1）

Question 5　合併症・併存症に対する検査はどの程度行うべきか？……赤司　朋之　150（1）

Question 6　管理栄養士がいない局面での栄養指導の工夫とは？……津村　和大　154（1）

Question 7　移行期医療で配慮すべきポイントは？
……濱田　淳平　156（1）

Question 8　認知症が進んだ患者さんへの糖尿病治療は？……赤司　朋之　159（1）

Question 9　感染症を併発したときは？
……楠見　僚太・脇　裕典　162（1）

Question 10　CGM・FGM・SMBGの使い分けは？
……野見山　崇　166（1）

©IGAKU-SHOIN Ltd. 2022

Question 11　HbA1c 値だけを指標に血糖コントロールを続けてもよい？
……林　　恭加・赤司　朋之　170(1)
Question 12　ブリットル型糖尿病ではインスリンポンプ療法が有効か？
……宮崎あすか・中村　昭伸　173(1)

■ 意外と知らない？ 外用薬・自己注射薬―外来診療での適“剤”適所
〈吸入薬〉
気管支喘息での使い分け……長野　宏昭　228(2)
COPD での使い分け……根井雄一郎　236(2)
吸入薬 Q&A……前田　光平　242(2)
〈注射薬〉
【生物学的製剤】
気管支喘息での使い分け……長野　宏昭　247(2)
関節リウマチでの使い分け……中西　研輔　252(2)
炎症性腸疾患での使い分け……座喜味盛哉　258(2)
アトピー性皮膚炎での使いどころ
……常深祐一郎　264(2)
【糖尿病治療薬】
インスリン製剤の使い分け……利根　淳仁　268(2)
GLP-1 受容体作動薬の使いどころと使い分け
……大西由希子　276(2)
糖尿病治療薬 Q&A……西村　博之　280(2)
【その他の注射薬】
骨粗鬆症での使い分け……池間　正英　284(2)
アドレナリン自己注射薬の使いどころ
……本村　和久　289(2)
片頭痛・群発頭痛での使いどころ
……本村　和久　294(2)
注射薬 Q&A……井上　　岳　300(2)
〈塗布薬〉
【ステロイド薬】
接触皮膚炎での使い分け……古結　英樹　304(2)
アトピー性皮膚炎での使い分け
……古結　英樹　308(2)
ステロイド外用薬 Q&A……鶴田雄一郎　313(2)
【抗菌薬】
外用抗菌薬の使いどころと使い分け
……谷口　智宏　318(2)
塗布薬 Q&A……鶴田雄一郎　322(2)
〈貼付薬〉
変形性関節症での使い分け……普天間朝拓　327(2)
慢性疼痛(がん性・非がん性)での使い分け
……安座間由美子　332(2)
貼付薬 Q&A……大井　一弥　336(2)
〈点眼薬〉
結膜炎(細菌性・アレルギー性)での使い分け
……若原　直人　340(2)
緑内障での使い分け……若原　直人　347(2)
点眼薬 Q&A……石岡みさき　352(2)
〈点鼻薬〉
アレルギー性鼻炎での使い分け
……須藤　　敏　355(2)
点鼻薬 Q&A……須藤　　敏　361(2)
〈坐薬〉
解熱・鎮痛・制吐での使い方…比嘉　哲史　365(2)
便秘での使い方……比嘉　哲史　369(2)
坐薬 Q&A……比嘉　哲史　371(2)

■ 成人が必要とするワクチン―生涯を通した予防接種の重要性
〈ライフコース予防接種の概要〉
ライフコース予防接種の必要性と実践
……氏家　無限　426(3)
予防接種に関するコミュニケーション
……堀　　成美　432(3)
〈予防接種を必要とする成人〉
〈年代別〉
20 代などの若い世代……中山久仁子　436(3)
高齢者……高山　義浩　442(3)
〈基礎疾患を持つ人〉
免疫不全者―がん患者へのワクチン接種について
……冲中　敬二　446(3)
無脾症……岩元　典子　454(3)
糖尿病……千葉　　大　458(3)
循環器疾患……佐田　　誠　463(3)
HIV 感染症……菅沼　明彦　468(3)
肝疾患……四柳　　宏　475(3)
肺疾患，喘息……丸山　貴也　478(3)
腎疾患……佐藤　光博・高橋　健介　482(3)
〈その他〉
妊婦……稲葉可奈子　487(3)
医療関係者……金井信一郎　490(3)
海外渡航者……福島　慎二　494(3)
〈成人を予防する代表的なワクチン〉
〈新型コロナワクチン〉
新型コロナワクチンの臨時接種の制度
……成澤　　学　499(3)
国内で使用可能な新型コロナワクチン①
―疾患の疫学，利用可能なワクチン製剤，接種方法
……神谷　　元　504(3)
国内で使用可能な新型コロナワクチン②
―接種対象者，有効性および安全性
……守屋　章成　510(3)
〈成人への定期接種〉
定期接種制度……成澤　　学　518(3)
インフルエンザワクチン……新庄　正宜　522(3)
肺炎球菌ワクチン……永井　英明　526(3)

2026/10/11 17:17:51

〈成人への任意接種〉
麻疹ワクチン……山元　佳　531(3)
風疹ワクチン……多屋　馨子　537(3)
破傷風ワクチン…… 青木　一晃・山本　舜悟　542(3)
百日咳ワクチン……堀越　裕歩　546(3)
HPV ワクチン……川名　敬　549(3)
帯状疱疹ワクチン……宮津　光伸　554(3)
黄熱ワクチン……守屋　章成　562(3)
〈**Column**〉
ブースター接種の有効性と安全性
……氏家　無限　509(3)
オミクロン変異に対するワクチンの有効性
……氏家　無限　517(3)

■ 症例から学ぶ　電解質と体液量管理のベストアンサー

〈電解質の管理〉
高 K 血症―急性・慢性高 K 血症の治療
……浅川信一郎・柴田　茂　612(5)
低 K 血症―急性・慢性低 K 血症の原因鑑別
……村島　美穂　618(5)
高 Na 血症―「どれだけ」「何で」「どう」補充するかと，いくつかの caveats(注意点)
……塚原　知樹　624(5)
低 Na 血症―急性・慢性低 Na 血症の初期治療
…. 桑野　克久・谷澤　雅彦・柴垣　有吾　630(5)
高 Ca 血症―高 Ca 血症が肉芽腫性疾患の診断の一助に……伊達　亮佑・棗原　孝成　638(5)
低 Ca 血症―高齢骨粗鬆症患者の低 Ca 血症
……成山　倫之・河原﨑宏雄　644(5)
高 P 血症―大腸内視鏡検査後に発症した急性リン酸腎症……駒場　大峰　650(5)
低 P 血症―低 P 血症×全身痛
……永瀬　宏哉・藤田　芳郎　654(5)
高 Mg 血症―高齢慢性腎臓病患者の高 Mg 血症
……河田　恭吾・志水　英明　662(5)
低 Mg 血症―薬剤性低 Mg 血症
……坂口　悠介　666(5)
〈体液量の管理〉
体液量減少―これって volume over? volume down?
……北野　夕佳　670(5)
ネフローゼ症候群
……仲田真由美・鈴木　智　676(5)
心不全―高齢末期腎不全での急性心不全
……新井　順也・平岡　栄治　682(5)
肝不全―腹水の治療におけるフロセミドの過剰投与
……持田　智　688(5)
腎不全―がん治療中に生じた急性腎障害，慢性腎臓病管理中の溢水…… 和田　健彦　692(5)
敗血症―不十分な初期輸液蘇生
……土井　研人　698(5)
呼吸不全―いかに肺を軽くするか
……片岡　惇　702(5)
内分泌代謝疾患―血糖補正後，高 Na 血症となり精神症状が遷延した高浸透圧高血糖症候群
……盛田　幸司　710(5)
周術期―非制限的輸液管理・ゼロバランス輸液管理
……坂本　安優・小竹　良文　716(5)
熱傷―熱傷の輸液
……和田　剛佳・安田　英人　722(5)
〈電解質と体液量の管理〉
熱中症……三宅　康史　726(5)
高齢者……小川　純人　732(5)
がん患者―抗 EGRF 抗体薬投与による低 Mg 血症と補正のタイミング
…. 大村　健二・土屋　裕伴・中島日出夫　736(5)

■ ジェネラリストの羅針盤―医学部では教わらなかった 28 のクエスチョン

〈ジェネラリストはここまで診よう！〉
身体疾患と精神疾患を同時に診るときに気をつけることは？……竹村　洋典　798(6)
小児を診るときに気をつけることは？
……堀越　健　802(6)
女性を診るときに気をつけることは？
……伊達岡　要　806(6)
プライマリ・ケアで必要な小外科手技とは？
……堀端　謙　812(6)
医師が留意すべき歯科の問題とは？
……樺沢　勇司・伊藤　奏　819(6)
困ったときに漢方薬を使いたくなるけど，何を処方すればいいの？…… 田中　博幸　825(6)
高齢者の栄養で留意すべきことは？
……奥村　圭子　831(6)
運動やリハビリは重要だけど，どう処方すればいいの？……若林　秀隆　835(6)
患者が人生の最期を迎えるとき，医師がすべきこと，できることは？……木澤　義之　841(6)
〈いろいろあります日常診療〉
患者と医師との齟齬はどうやって埋めたらいいの？
……北村　大　848(6)
患者の家族がもめていたら，どう対処すればいいの？
……川口満理奈・松下　明　853(6)
認知症患者に胃瘻をつくっていいの？
……赤石　雄　860(6)
他院や他科からの依頼で困ったとき，どう対処すればいいの？……上原　孝紀　864(6)
同僚から訴えられたら，どう対処すればいいの？
……大磯義一郎　868(6)
最近よく聞く“社会的処方”って何？

2026/10/11 17:17:51

……亀井　利克　874(6)
医師に必要な予防医療の知識って？
……佐々木隆一郎　881(6)
医師に必要な社会保障制度の知識って？
……松田　晋哉　885(6)
生活困窮者を診るときに配慮すべきことは？
……小池　　宙　888(6)
外国人を診るときに知っておくべきことは？
……冨田　　茂・二見　　茜　893(6)
災害が起こる前・起こった後に医師ができることは？
…遠矢　　希・大谷　典生・石松　伸一　897(6)
〈知りたい！ 仕事とキャリアの話〉
多職種とどうタスクシェア・シフトすればいいの？
……春田　淳志　904(6)
開業するときにやっておくべきこと，知っておくべきことは？……松村　真司　913(6)
病院勤務医として働くときに知っておくべきことは？
……保浦　修裕・綿貫　　聡　917(6)
へき地医療の面白さって？……山田　隆司　921(6)
在宅医療を行うときに知っておくべきことは？
―在宅医療に潜むリスクと将来性
……三木　誓雄　926(6)
医師会に入ると，どんないいことがあるの？
……土谷　明男　930(6)
学校医になるために知っておくべきことは？
……原　　朋邦・原　　拓麿　934(6)
嘱託産業医になるために知っておくべきことは？
……石橋　幸滋　938(6)
〈Column〉
そもそも，なぜ人間にとって医療が必要なのか？
……細谷　辰之　845(6)
総合診療医の養成はオールジャパンで臨むべき
……千坂　一也　902(6)

■ 抗菌薬の使い方―敵はコロナだけにあらず！ 今こそ基本に立ち返る
〈抗菌薬を処方する前に知るべきこと〉
抗菌薬のスペクトラムを俯瞰する
……羽田野義郎　999(7)
PK/PD を理解する……杤　　秀樹　1004(7)
〈抗菌薬サイドから考える抗菌薬の使い方〉
ペニシリン系……篠原　　浩　1012(7)
セフェム系，モノバクタム系
……上田　晃弘　1018(7)
カルバペネム系……笹原　鉄平　1024(7)
アミノグリコシド系……清水　真澄　1029(7)
ニューキノロン系……根井　貴仁　1034(7)
マクロライド系，リンコマイシン系，テトラサイクリン系……児玉　文宏　1038(7)
グリコペプチド系，リポペプチド系，オキサゾリジノン系……冲中　敬二　1043(7)
メトロニダゾール，ST 合剤，フィダキソマイシン，ホスホマイシン
……石川　和宏・森　　信好　1048(7)
アゾール系，キャンディン系，ポリエンマクロライド系……酒匂　崇史・木村　宗芳　1052(7)
〈微生物サイドから考える抗菌薬の使い方〉
〈グラム陽性球菌〉
ブドウ球菌―黄色ブドウ球菌(*Staphylococcus aureus*)，コアグラーゼ陰性ブドウ球菌(CNS)
……山口　哲央　1058(7)
レンサ球菌―*Streptococcus pneumoniae*, viridans group streptococci, *β*-hemolytic streptococci
……宇野　俊介　1062(7)
腸球菌―*Enterococcus faecalis*, *Enterococcus faecium*
……大串　大輔　1068(7)
〈グラム陽性桿菌〉
クロストリディオイデス属，クロストリジウム属―*Clostridioides difficile*, *Clostridium perfringens*
……森　　伸晃　1072(7)
〈グラム陰性球菌〉
ナイゼリア属―*Neisseria meningitidis*, *Neisseria gonorrhoeae*……大路　　剛　1076(7)
〈グラム陰性桿菌〉
市中の腸内細菌目―*Escherichia coli*, *Klebsiella* spp., *Proteus* spp.……原田　壮平　1080(7)
院内の腸内細菌目―*Enterobacter* spp., *Citrobacter* spp., *Serratia* spp.
……佐藤　聡子・中村　　造　1084(7)
ブドウ糖非発酵菌―*Pseudomonas aeruginosa*, *Acinetobacter* spp.……櫻井　亜樹　1088(7)
嫌気性菌―*Bacteroides fragilis* を中心に
……寺田　教彦　1092(7)
〈その他の菌〉
グラム染色で見えない菌―*Mycoplasma* spp., *Chlamydophila*(*Chlamydia*)spp., *Legionella pneumophila*……櫻井　隆之　1096(7)
カンジダ属　*Candida* spp.……阿部　雅広　1100(7)
〈感染症サイドから考える抗菌薬の使い方―症例をもとに〉
上気道感染症，下気道感染症
……野田　晃成・皿谷　　健　1104(7)
腸管感染症……伊東　　完　1110(7)
肝胆道系感染症，腹腔内感染症
……矢野　晴美　1116(7)
腎・泌尿生殖器感染症……宮﨑　泰斗　1120(7)
中枢神経感染症……能勢　裕久　1125(7)
皮膚軟部組織感染症……鈴木　麻衣　1132(7)
骨・関節感染症……鈴木　麻衣　1137(7)
心血管系感染症…福井由希子・幅　雄一郎　1141(7)

2026/10/11 17:17:51

カテーテル関連血流感染症(CRBSI)―COVID-19流行下における対策
……柏木　克仁・吉澤　定子 1148(7)

■ 日常診療に潜む臨床検査のピットフォールを回避せよ
〈座談会〉
臨床検査でのエラーを回避するために
…… 鋪野　紀好・佐田　竜一・三澤　美和 1206(8)
〈総論〉
臨床検査における診断エラー…… 鋪野　紀好 1214(8)
〈各論〉
〈尿検査〉
Case 1. 尿潜血陽性だから尿管結石？
……坂本　　壮 1218(8)
Case 2. 尿路感染症の鑑別は容易？
……菅野　耀介・本郷　舞依 1222(8)
Case 3. 尿中薬物スクリーニング検査陽性だけど本当に薬物中毒？
……名和　宏樹・日下　伸明 1226(8)
〈血液・凝固・線溶系検査〉
Case 4. HbA1c 正常だけど糖尿病？
……鋪野　紀好 1232(8)
Case 5. D-ダイマー正常の大動脈解離？
……原田　　拓 1236(8)
〈生化学検査〉
Case 6. TP 上昇しているけど圧迫骨折？
……友田　義崇 1240(8)
Case 7. LDH だけ高いけど…
…… 吉村　文孝・國友耕太郎・志水　太郎 1244(8)
Case 8. 低 ALP 血症は無視して大丈夫？
……横田　雄也 1248(8)
Case 9. 複数の検査値異常の裏に潜む病態は？
……田宗　秀隆 1252(8)
Case 10. 心筋トロポニン陽性だけど心筋梗塞ではない？……小野　亮平 1256(8)
Case 11. 高齢者の CRP 高値は感染症一択？
……高瀬　義祥 1262(8)
Case 12. PaO_2 と SpO_2 が乖離する？
……繁田　知之・佐々木陽典 1266(8)
〈内分泌・代謝検査〉
Case 13. BNP 上昇しているけど心不全増悪？
……舩冨　裕之・舩越　　拓 1270(8)
Case 14. コルチゾール正常だから副腎機能は大丈夫!?…… 藤井　真理・官澤　洋平 1274(8)
〈免疫学的検査〉
Case 15. ANCA 陽性！ それって本当に血管炎？
……三澤　美和 1278(8)
Case 16. IgG4 が上がっていれば，IgG4 関連疾患でしょ!!…… 島田　侑祐・小坂鎮太郎 1283(8)
〈感染症検査〉
Case 17. RPR と TPHA が陰性なら，梅毒は否定できる？……飯野　貴明 1288(8)
Case 18. プロカルシトニン陰性なので細菌感染症ではない？……坂口　公太・和足　孝之 1292(8)
Case 19. 血液培養陰性であれば菌血症ではない？
……相原　秀俊・多胡　雅毅 1296(8)
Case 20. β-D グルカン陽性なら真菌感染症？
……宮上　泰樹 1300(8)
〈糞便検査・穿刺液検査〉
Case 21. 発熱・腹痛と嘔吐・下痢だったら感染性腸炎じゃないの？……佐田　竜一 1304(8)
Case 22. Guillain-Barré 症候群ってどう診断するの？…… 長野　広之 1308(8)
Case 23. 血性心嚢液はすべて重症を意味する？
……斎藤　雅也・熊川　友子 1312(8)
〈画像検査〉
Case 24. 構音障害と右口角下垂の疑いで夜間に救急搬送，来院時には症状消失．1 人でみていたらどうする？……馬場　優里・森川　　暢 1316(8)
Case 25. 頻回の下痢，それって本当に急性胃腸炎？
……加藤　真優・川又　望実 1320(8)
Case 26. 生魚摂取後の心窩部痛，それって本当に胃アニサキス症？
……中島　浩一・常石　大輝 1324(8)
Case 27. その上部消化管出血，PPI 処方するだけでいい？……高見　秀樹 1328(8)
Case 28. 胆嚢壁肥厚があれば胆嚢炎？
……岡田　健太・長崎　一哉 1332(8)
Case 29. IVC が拡張していれば輸液は不要？
……堤　　俊太・濱井　彩乃 1337(8)
Case 30. 造影 CT 正常だけど急性大動脈解離？
……関根　一朗 1342(8)
Case 31. ヘルニアか？ 慢性疼痛か？ 身体症状症か？……大武　陽一 1346(8)
Case 32. 転倒後の股関節痛の高齢者，X 線検査で何もなければ打撲？……岩田　秀平 1350(8)
Case 33. 気管分岐角開大をみたら何を考える？
……三枝　万紗 1354(8)
Case 34. 下腹部痛で卵巣腫大があれば卵巣腫瘍茎捻転？……磯部　真倫 1360(8)

■ 不安を自信に変える心電図トレーニング―専門医の tips を詰め込んだ 50 問
〈P 波ってあるかないかじゃないの !?〉
01 わからなくても大丈夫！ P 波を正常と言うためのウォームアップ……久慈　　怜 1417(9)
02 超高齢社会の心疾患は P 波が教えてくれる？
……久慈　　怜 1421(9)
03 息切れがあったら見逃してはならない所見

2026/10/11 17:17:51

……勝木　知徳 1425(9)
04 いつもと違う形のP波……勝木　知徳 1427(9)
05 P波とQRS波の関係性は時に難しい
……河野　裕之 1430(9)
06 P波とQRS波が遠いとき……河野　裕之 1433(9)
〈**QRS**の眺め方：①電気軸，②前胸部誘導の連続性，③心室の異常を察知する〉
07 電気軸を改めて考える(QRS波形を読むための第一歩)……河野　裕之 1435(9)
08 前胸部誘導の連続性を意識する
……廣上　潤 1437(9)
09 左室肥大を，R波で見るか？ S波で見るか？
……髙麗　謙吾 1439(9)
10 苦手な左脚ブロックをどうするか
……髙麗　謙吾 1443(9)
11 困らされる左脚ブロック患者の胸痛
……髙麗　謙吾 1447(9)
12 右脚ブロックは経過観察でOK？
……髙麗　謙吾 1451(9)
13 右脚ブロック患者の胸痛も難しい？
……髙麗　謙吾 1455(9)
14 Brugada型心電図とBrugada症候群
……西崎　公貴 1459(9)
〈循環器的緊急！ この変化を見逃すな!!〉
15 これはすぐに循環器!!
……石沢　太基・堀内　優 1463(9)
16 もっと早く循環器!!
……石沢　太基・堀内　優 1465(9)
17 STEMI!?……大島　旭・堀内　優 1467(9)
18 STEMIトレーニング①……新井　陸 1469(9)
19 STEMIトレーニング②……新井　陸 1473(9)
20 STEMIトレーニング③……新井　陸 1475(9)
21 STEMIトレーニング④……新井　陸 1477(9)
22 STEMIトレーニング⑤……小島　俊輔 1479(9)
23 虚血性心疾患におけるST低下について
……新井　順也・小島　俊輔 1483(9)
24 これもST低下？……佐橋　勇紀 1487(9)
25 胸痛は消失．もう安心？
……大島　旭・堀内　優 1489(9)
26 ストレインパターンとは何か
……佐橋　勇紀 1493(9)
27 健診の心電図で目に付く変化
……佐藤　宏行 1495(9)
28 胸痛はないのに新たに出現したST-T変化
……廣上　潤 1497(9)
29 突然の呼吸苦…川上　俊成・堀内　優 1499(9)
30 胸の痛みで受診したら
……川上　俊成・堀内　優 1501(9)
31 健診で見かける悩ましい所見
……灘濵　徹哉 1503(9)
32 緊急性の高い心電図変化①
……根本　脩平・堀内　優 1507(9)
33 緊急性の高い心電図変化②
……根本　脩平・堀内　優 1509(9)
〈不整脈の診断こそ心電図の本領〉
34 脈が遅いとき……廣上　潤 1511(9)
35 見逃されやすい緊急疾患……西崎　公貴 1513(9)
36 狭心症かもしれない心電図変化
……灘濵　徹哉 1517(9)
37 QRSの狭い頻脈①
……澤田　昌成・永嶋　孝一 1520(9)
38 QRSの狭い頻脈②
……若松　雄治・永嶋　孝一 1523(9)
39 QRSの狭い頻脈③
……平田　萌・永嶋　孝一 1525(9)
40 これを見たら頻拍回路を一発診断
……佐藤　宏行 1528(9)
41 早期脱分極症候群とは？……髙麗　謙吾 1531(9)
42 common disease……佐藤　宏行 1535(9)
43 脈が速くも遅くもなる症候群
……佐藤　宏行 1539(9)
44 ギザギザした心電図……太田　真之 1541(9)
45 上室性？ 心室？……太田　真之 1543(9)
46 心室期外収縮の好発部位①
……佐土原洋平 1547(9)
47 心室期外収縮の好発部位②
……佐土原洋平 1549(9)
48 緊急性の高い頻拍……佐土原洋平 1551(9)
49 まさにBrugada波形様？……西崎　公貴 1553(9)
50 心臓の病気は左室だけじゃない
……西崎　公貴 1555(9)

■ ちょっと待って，その痛み大丈夫？ “見逃してはいけない痛み”への安全なアプローチ
〈アプローチの仕方〉
突然の痛み……坂本　壮 1614(10)
間欠痛……浅川　麻里 1618(10)
増悪する痛み―腹痛に焦点を当てて
……須田竜一郎 1622(10)
人生最大の痛み…… 中村　真崇・島　惇 1626(10)
慢性的な痛み……本田奈々瀬 1631(10)
〈各論―こんな痛みには要注意！〉
慢性の頭痛―片頭痛
……福澤　文駿・鋪野　紀好 1637(10)
急性の頭痛―静脈洞血栓症……中尾　寛宙 1642(10)
眼痛―急性閉塞隅角緑内障
……福與　裕子・金井　信恭 1646(10)
咽頭痛……竪　良太 1650(10)
頸部痛―Crowned dens症候群
……西田　成・林　実 1656(10)

2026/10/11 17:17:51

胸痛……中島　聡志 1660(10)
急性の上腹部痛……宮田　直輝 1664(10)
急性の下腹部痛―憩室炎
……葛生　健人・吉田　篤史 1668(10)
慢性の腹痛―機能性消化管障害
……水本　潤希 1672(10)
背部痛―Stanford B 型大動脈解離
……建部　将夫・瀬尾龍太郎 1678(10)
腰痛……狩野　謙一 1684(10)
肩関節痛―腱板，関節唇を診ましょう
……杉本　勝正 1687(10)
肘関節痛……岩瀬　嘉志 1692(10)
手関節痛……仲田　和正 1696(10)
股関節痛……上原　健敬 1699(10)
膝関節痛……澤近　　弘 1704(10)
足趾関節痛―痛風……谷口　敦夫 1707(10)
足底部痛……天羽健太郎 1712(10)
全身の痛み―リウマチ性多発筋痛症(PMR)
……雫　　辰徳・萩野　　昇 1716(10)
〈痛みの評価と鎮痛薬の使い方〉
痛みの評価と介入……竹下　　諒 1721(10)
非ステロイド性抗炎症薬(NSAIDs)
……木下　真弓 1726(10)
アセトアミノフェン……吉本　　昭 1732(10)
トラマドールと GABA 関連薬(ガバペンチノイド)
……久保田敬乃・西　　智弘 1736(10)
麻薬性鎮痛薬……松本　禎久 1742(10)
外用薬……安座間由美子 1748(10)

■これからもスタンダード！ Quality Indicator の診療への実装―生活習慣病を中心に
〈座談会〉
生活習慣病における診療評価指標の現状と策定の課題
…… 小坂鎮太郎・青木　拓也・栗原　　健・
香坂　　俊・綿貫　　聡・和足　孝之 1808(11)
〈医療の質，診療評価指標という概念の理解〉
医療の質を評価して改善することの社会的意義
……東　　尚弘 1818(11)
診療評価指標(Quality Indicator)って役に立つ？
どう使う？……小坂鎮太郎 1822(11)
プライマリ・ケアにおける診療の質の評価と改善
……青木　拓也 1825(11)
Column 外来診療の診療評価指標作成
……松村　真司 1830(11)
入院医療における診療の質の評価と改善
……中西　貴大・綿貫　　聡 1832(11)
医療の質改善戦略の実装―定型的手法を中心に
……栗原　　健 1836(11)
〈生活習慣に関する疾患の診療評価指標とその実装〉
〈糖尿病〉
糖尿病診療における一般的な診療評価指標
……平良　宏樹・小坂鎮太郎 1842(11)
糖尿病の食事療法・運動療法における評価指標と
その実装方法…島田　侑祐・新井　康弘 1846(11)
2 型糖尿病のスクリーニング・予防における評価
指標とその実装方法
……中西　俊就・松本　朋弘 1851(11)
〈高血圧〉
高血圧治療の診療評価指標
……髙井　咲弥・清田　雅智 1856(11)
高血圧の栄養療法による評価指標とその実装方法
……髙井　咲弥・清田　雅智 1862(11)
〈肥満症〉
肥満症の診療評価指標……安本　有佑 1866(11)
肥満のリスクと予防―運動・栄養・行動療法の
実装についての評価指標……安本　有佑 1870(11)
〈脂質異常症〉
脂質異常症の診療評価指標……濵田　　治 1876(11)
〈慢性腎臓病〉
慢性腎臓病の診療評価指標
……藤田　　聡・杉田　行平 1881(11)
慢性腎臓病のリスクと予防―運動・栄養療法の
実装についての評価指標
……菟原　洸司・安本　有佑 1886(11)
〈高尿酸血症〉
高尿酸血症の診療評価指標
……宇津野　瞳・安本　有佑 1891(11)
〈呼吸器疾患〉
気管支喘息診療における診療評価指標
……伊藤　　光・江原　　淳 1896(11)
COPD の診療評価指標……石丸　直人 1900(11)
喫煙介入のための診療評価指標とその実装
……中村　正和 1906(11)
〈心疾患〉
冠動脈疾患診療の評価指標
……金田　和久・塩見　紘樹 1912(11)
慢性心不全の診療評価指標……河野　隆志 1917(11)
〈消化器疾患〉
NAFLD/NASH の診療評価指標
……吉岡　　翼・山田　　徹 1921(11)
〈骨粗鬆症〉
骨粗鬆症診療における診療の質評価
……野尻晋太郎・綿貫　　聡 1926(11)
〈歯科・嚥下障害関連〉
歯周病診療の診療評価指標……松本　朋弘 1930(11)
摂食嚥下障害の診療評価指標…前田　圭介 1936(11)
食事介助の診療評価指標……小山　珠美 1940(11)
〈フレイル・サルコペニア〉
フレイルの診療評価指標……若林　秀隆 1946(11)
サルコペニアの診療評価指標…吉村　芳弘 1950(11)

2026/10/11 17:17:51

Column ロコモティブシンドローム
……小川　貴久 1954(11)
〈高齢者診療〉
高齢者診療の診療評価基準……玉井　杏奈 1956(11)
認知症診療の診療評価指標……小川　朝生 1962(11)
〈がん〉
がん検診の質の考え方
……東　　尚弘・中山　富雄 1966(11)
肺がんの予防と検診の臨床評価指標
……鶴田慧司郎・官澤　洋平 1970(11)
乳がんの予防と検診の診療評価指標
……坂間　玲子 1975(11)
大腸がん，胃がんの予防と検診の診療評価指標
…戸田　智也・野﨑　由迅・岡田　　悟 1980(11)
〈生活習慣に影響・関連するエトセトラ〉
GERD における一般的な診療評価指標
……富田　詩織 1986(11)
機能性ディスペプシア(FD)の診療評価指標
……黒川　雄太・近藤　敬太 1992(11)
片頭痛診療の質評価指標……金子　　惇 1998(11)
月経困難症の診療評価指標……柴田　綾子 2002(11)
multimorbidity の臨床評価指標
……大浦　　誠 2006(11)
LGBTQ の診療評価指標……金久保祐介 2012(11)
不眠症の診療評価指標
……榎本　貴一・原田　　拓 2016(11)
Column こころと生活習慣病
……小澤　秀浩・山崎　　聡 2021(11)
便秘症の診療評価指標
……前沢めぐみ・森川　　暢 2024(11)
成人の予防接種における診療評価指標
……中山久仁子 2029(11)
卓越した総合診療の診療評価指標
…藤沼　康樹・金子　　惇・加藤　光樹 2035(11)
緩和ケアにおける一般的な診療評価指標
……柏木　秀行 2038(11)
在宅医療における診療評価指標
……佐々木　淳 2042(11)
スポーツ医学における診療評価指標
……濱井　彩乃 2048(11)
言語や文化の異なる患者に対する医療施設の
診療評価指標……佐々江龍一郎 2054(11)

■ 避けて通れない心不全診療―総合内科力・循環器力を鍛えよう！

〈心不全総論〉
fantastic seven を意識した心不全診療
……平岡　栄治 2110(12)
患者中心の心不全診療を目指して―予後予測モデルの
上手な使い方……白石　泰之 2118(12)
BNP，NT-proBNP の測定は必須でしょうか？
マネジメントにどのように役立たせたらよいです
か？……西尾　　亮 2123(12)
〈急性心不全〉
急性心不全で最初にするべきことは何ですか？
……小島　俊輔 2130(12)
うっ血の病態と評価について教えてください
……猪又　孝元 2135(12)
急性心不全において血管拡張薬と利尿薬の役割を
教えてください……新井　順也 2140(12)
利尿薬：フロセミドで十分な利尿効果が得られない
急性心不全では何をしたらよいですか？
…河越　美佳・谷亀　元香・河原崎宏雄 2146(12)
利尿薬：急性心不全にて利尿薬使用中に血清 Cr 値が
上がったら，うっ血があっても利尿薬を中止した
ほうがよいですか？
…高野　敬佑・北村　浩一・鈴木　利彦 2152(12)
トルバプタンの使い方を教えてください
……宮原　大輔・北井　　豪 2158(12)
心房細動を合併した急性心不全の治療法を教えて
ください……髙見　　充 2164(12)
〈慢性心不全〉
慢性心不全で鑑別すべき原因疾患を教えてください
……久保　　亨 2170(12)
HFpEF について教えてください
……杉崎陽一郎 2179(12)
HFrEF について教えてください
……堀内　　優・田邉　健吾 2185(12)
HFmrEF とはどのような疾患ですか？
……望月　泰秀 2192(12)
心房細動を合併した慢性心不全患者の心房細動は
アブレーションすべき？……藤原　竜童 2197(12)
ステージ D と思ったらすべきことは？
……松尾裕一郎 2204(12)
心不全治療の次の一手：心臓再同期療法，経皮的僧帽
弁接合不全修復システムについて教えてください
……川上　将司 2211(12)
再入院を防ぐには：セルフケアに関する患者教育は
何をすればよいですか？ 心不全のセルフケアとは
何ですか？……平松由布季・平岡　栄治 2217(12)
心不全の緩和ケアとは何でしょうか？
……大石　醒悟 2223(12)
心不全のリハビリテーションについて教えてください
……神谷健太郎 2230(12)
〈心不全の新薬について〉
新しい薬：アンジオテンシン受容体ネプリライシン
阻害薬(ARNI)の使い方を教えてください
……小船井光太郎 2236(12)
新しい薬：SGLT2 阻害薬は糖尿病がなくても
処方すべきですか？

2026/10/11 17:17:51

……三木　隆幸・伊野　祥哉 2242(12)
新しい薬：洞結節阻害薬　イバブラジンの出番はいつですか？……佐野　元昭 2248(12)
〈基礎になる心疾患各論〉
収縮性心膜炎を疑うコツを教えてください．総合内科医も知っておくべきですか？……野口　将彦 2255(12)
ATTR はどういうときに疑いますか？……泉家　康宏 2261(12)
心臓サルコイドーシスの診断と治療について教えてください……奥村　貴裕 2266(12)
〈心不全発症予防〉
糖尿病患者における心不全ステージ A・B の治療およびステージ C にさせない方法を教えてください……遠藤　慶太・鈴木　利彦 2272(12)
〈**Column**〉
HFpEF と診断する前に鑑別すべき心疾患……平岡　栄治 2176(12)

■ 令和の頭痛診療―プライマリ・ケア医のためのガイド
〈座談会〉
頭痛患者の patient journey を見据えた診療―頭痛難民を作らないための心得…竹島多賀夫・五十嵐久佳・生坂　政臣 2330(13)
〈頭痛診療 **Start-Up**〉
頭痛診療概論―これから頭痛診療に参入するためのガイド…橋本洋一郎・稲富雄一郎・米原　敏郎 2338(13)
危険な頭痛を見分ける……川崎　一史・山元　敏正 2345(13)
頭痛患者の問診と身体診察のコツ……石鎚　　啓・滝沢　　翼 2350(13)
片頭痛を見逃さない―片頭痛診断のポイント……粟木　悦子 2354(13)
片頭痛の急性期治療―トリプタン，NSAIDs，ジタン，制吐薬を上手に使う……古和　久典 2360(13)
連日性頭痛と鎮痛薬乱用への対応……辰元　宗人・雨澤奈津美 2370(13)
緊張型頭痛の診断と治療……石井亮太郎 2374(13)
群発頭痛の診断と治療……團野　大介 2378(13)
〈頭痛診療 **One-up**〉
片頭痛予防療法の適応と既存薬の使い方……下畑　敬子・下畑　享良 2382(13)
新規 CGRP 関連抗体薬の特徴，使い方……山王　直子 2388(13)
頭痛患者の生活指導―食事，睡眠，運動，体重，ストレスのコントロール……瀧川　洋史・花島　律子 2398(13)
群発頭痛以外の三叉神経・自律神経性頭痛―分類と標準治療……今井　　昇 2404(13)
新規発症持続性連日性頭痛……工藤　雅子 2408(13)
三叉神経痛・顔面痛……北原　功雄・白鳥　寛明 2412(13)
月経時片頭痛，妊娠希望・妊婦・授乳婦の頭痛……内藤　子来 2418(13)
脳血管障害と頭痛―walk-in SAH，動脈解離，脳静脈血栓症……菊井　祥二・竹島多賀夫 2421(13)
血管炎と頭痛―高安動脈炎，巨細胞性動脈炎，原発性中枢神経系血管炎……尾崎　彰彦 2426(13)
〈頭痛診療の **Tips & Topics**〉
〈頭痛診療の Tips〉
頭痛外来の役割と運営のノウハウ……松森　保彦 2430(13)
患者への説明―IC(インフォームド・コンセント)から SDM(shared decision making)へ…立岡　良久・成瀬　玉恵・立岡　　悠 2434(13)
頭痛ダイアリーの活用……伊藤　康男 2440(13)
慢性頭痛のオンライン診療……秋山　久尚 2444(13)
頭痛診療に役立つ画像診断の知識…落合　諒也・藤井　進也・小川　敏英 2450(13)
〈頭痛診療の Topics〉
頭痛の疫学，疾病負担……清水　利彦 2456(13)
慢性片頭痛のメカニズム……永田栄一郎 2462(13)
COVID-19 と頭痛―コロナ感染後・ワクチン接種後の頭痛，コロナ禍における頭痛…鈴木　圭輔・松林　賢照・椎名　智彦 2466(13)
起立性調節障害(OD)に伴う頭痛……田中　英高 2470(13)
精神疾患と頭痛，認知行動療法…中村　祐三・嶋　　美香・端詰　勝敬 2474(13)
〈**Column**〉
頭痛の診療ガイドライン 2021―改訂のポイント……荒木　信夫 2343(13)
降雪視……柴田　　護 2358(13)
片頭痛と認知症……髙橋　牧郎 2366(13)
経口 CGRP 受容体拮抗薬(ゲパント系薬剤：gepant)……西郷　和真 2396(13)
頭痛の日・JPAC…石崎公郁子・菊井　祥二・田畑かおり 2460(13)

【読んだら，ちょいあて！　POCUS のススメ】
胆嚢炎を疑ったら……今村　祐志・畠　　二郎　　1(1)
CV 穿刺するならエコーを最大限活用しよう！……鈴木　昭広　209(2)
POCUS で診断する肺塞栓症…藤原　美佳　409(3)

【治らない咳，どう診る・どう処方する？】
なぜ咳は長引くの？……中島　啓　177(1)
初診での咳嗽の診かた……中島　啓　379(2)
初診での喀痰の診かた……中島　啓　568(3)
かぜ症候群の咳嗽・喀痰……中島　啓　745(5)
気管支喘息の咳嗽・喀痰……中島　啓　943(6)
COPD の咳嗽・喀痰……中島　啓 1155(7)
肺炎の咳嗽・喀痰……中島　啓 1364(8)
気管支拡張症の咳嗽・喀痰……中島　啓 1558(9)
鼻炎・副鼻腔炎の咳嗽・喀痰…中島　啓 1753(10)
胃食道逆流症(GERD)の咳嗽・喀痰
……中島　啓 2058(11)
原因不明の咳嗽・喀痰……中島　啓 2280(12)
結核・非結核性抗酸菌症の咳嗽・喀痰
……中島　啓 2477(13)

【主治医の介入でこれだけ変わる！　内科疾患のリハビリテーション】
急性冠症候群……上月　正博　180(1)
心不全……上月　正博　390(2)
末梢動脈疾患……上月　正博　572(3)
慢性閉塞性肺疾患(COPD)：運動耐容能向上の方法
……上月　正博　752(5)
慢性閉塞性肺疾患(COPD)：息切れを減らす方法
……上月　正博　967(6)
慢性腎臓病(保存期・透析期)…上月　正博 1171(7)
糖尿病……上月　正博 1384(8)
高血圧……上月　正博 1579(9)
脂質異常症……上月　正博 1770(10)
肥満症……上月　正博 2062(11)
非アルコール性脂肪性肝疾患…上月　正博 2299(12)
脳血管障害……上月　正博 2492(13)

【ここが知りたい！　欲張り神経病巣診断】
脳出血(小脳出血)①手足の失調
……難波　雄亮　188(1)
脳出血(小脳出血)②体幹の失調/脳出血の手術適応は？……難波　雄亮　373(2)
脳梗塞①錐体路障害/脳梗塞の病型
……難波　雄亮　954(6)
脳梗塞②健忘/視床梗塞―手口感覚症候群
……難波　雄亮 1161(7)
脳梗塞③右善脈絡叢動脈領域の梗塞/前脈絡叢動脈の臨床……難波　雄亮 1371(8)
脳梗塞④手と口の感覚障害/内頸動脈狭窄の罹患率・頻度……難波　雄亮 1564(9)
脳梗塞⑤半側空間無視の臨床/頸動脈狭窄症の評価
……難波　雄亮 1760(10)
視野欠損―視神経病変/症候性頸動脈狭窄症の治療(外科的治療)……難波　雄亮 2072(11)
脳梗塞⑦ MLF 症候群(内側縦束症候群)/知っていると役に立つ水平眼球運動障害の臨床
……難波　雄亮 2292(12)
ものが二重に見える!?　外眼筋麻痺の臨床①―中脳梗塞の臨床……難波　雄亮 2482(13)

【続・ケースレポートを書こう！　“論文の軸の設定”トレーニング】
ケースレポートにできる症例と「structure の原則」のおさらい……見坂　恒明　193(1)
アシクロビル脳症の 70 歳男性～ある疾患の新規な症状・所見・経過～……見坂　恒明　386(2)
腹腔内リンパ節腫脹をきたした 29 歳女性
～ある疾患の新規な症状・所見・経過～
……見坂　恒明　586(3)
カンピロバクター腸炎の 51 歳男性
～ある疾患の新規な症状・所見・経過～
……眞川　昌大・見坂　恒明　741(5)
メトトレキサート内服中に椎体の溶骨性変化をきたした 76 歳男性～ある薬剤の新規な副作用・薬剤相互作用～……平田　千尋・見坂　恒明　950(6)
IgA 血管炎に対して血液透析中に回路内圧が上昇して透析を中断した 87 歳男性～2 つの疾患間に予想外の関連性～……京谷　萌・見坂　恒明 1166(7)
難治性吃逆をきたした 87 歳男性～ある疾患の新規な症状・所見・経過～
……八幡　晋輔・見坂　恒明 1379(8)
RS3PE 症候群の 71 歳女性～ある疾患の新規な診断方法(治療効果の判定方法)～…. 見坂　恒明 1574(9)
間質性肺炎に対して在宅 HFNC を導入した 75 歳男性～ある疾患の新規な治療方法，予想外の治療効果～
……合田　建・見坂　恒明 1766(10)
甲状腺クリーゼによる心停止をきたした 23 歳男性
～ある疾患の新規な症状・所見・経過～
……中嶋　裕・見坂　恒明 2068(11)
重症 COVID-19 肺炎治療中に気管挿管チューブ閉塞をきたした症例～稀もしくは新規の病気・病原体における注意喚起～
……杉本　龍・見坂　恒明 2304(12)
Haemophilus influenzae type a による多発関節炎を伴う侵襲性インフルエンザ菌感染症の症例
～稀もしくは新規の病気・病原体～
……見坂　恒明 2487(13)

【ローテクでもここまでできる！　おなかのフィジカル診断塾】
おなかが痛い その 1　虫垂炎のフィジカル―フィジカルで虫垂の位置を当てる！…中野　弘康　597(5)
おなかが痛い その 2　前皮神経絞扼症候群―画像検査で異常がみつからない腹痛‥中野　弘康　781(6)

2026/10/11 17:17:51

おなかが痛い その3　急性膵炎のフィジカル―“おなかのやけど”……中野　弘康　981(7)
おなかが痛い その4　急性胆嚢炎―Murphy徴候だけじゃない！……中野　弘康 1189(8)
おなかが痛い その5　心窩部痛―おなかの音を聴きに行け！……中野　弘康 1405(9)
おなかが痛い その6　脾破裂―デルマトームを意識して痛みの発生部位を把握しよう！……中野　弘康 1597(10)
おなかが痛い その7　正中弓状靱帯圧迫症候群―身体の静かなる音に耳を傾けよう！……中野　弘康 1789(11)
おなか(下腹部)が膨満している その1　尿閉のフィジカル―おなかを真横からみる……中野　弘康 2093(12)
腹部膨満 その2　腸閉塞のフィジカル―お腹をじっと視てみよう！……中野　弘康 2315(13)

【目でみるトレーニング】

問題　1006……志水　隼人　196(1)
問題　1007……平岡　　淳　197(1)
問題　1008……中島　崇作　198(1)
問題　1009……福山　　一　397(2)
問題　1010……平岡　　淳　398(2)
問題　1011……大久保佳昭　399(2)
問題　1012……明保　洋之　578(3)
問題　1013……西脇　宏樹　579(3)
問題　1014……島　　惇　580(3)
問題　1015……岩崎　　靖　760(5)
問題　1016……島　　惇　761(5)
問題　1017……佐藤　宏行　762(5)
問題　1018……西脇　宏樹　960(6)
問題　1019……岩崎　　靖　962(6)
問題　1020……梶原　祐策　963(6)
問題　1021……水島伊知郎 1177(7)
問題　1022……岩崎　　靖 1178(7)
問題　1023……梶原　祐策 1179(7)
問題　1024……西岡　　亮 1392(8)
問題　1025……及川　　愛 1393(8)
問題　1026……梶原　祐策 1394(8)
問題　1027……川原　寛之・水島伊知郎 1568(9)
問題　1028……亀井　博紀 1569(9)
問題　1029……梶原　祐策 1570(9)
問題　1030……岩崎　　靖 1776(10)
問題　1031……名嘉村　敬 1777(10)
問題　1032……梶原　祐策 1778(10)
問題　1033……岩崎　　靖 2078(11)
問題　1034……梶原　祐策 2079(11)
問題　1035……佐藤　宏行 2080(11)
問題　1036……岩崎　　靖 2285(12)
問題　1037……亀井　博紀 2286(12)
問題　1038……梶原　祐策 2288(12)
問題　1039……川上　　徹 2499(13)
問題　1040……村島　美穂 2500(13)
問題　1041……梶原　祐策 2501(13)

【増刊号】

■ フィジカル大全―読んで，見て，聴いて，身体診察を完全マスター！

第1章　全身

血圧の異常，ショック……鎌田　一宏　10(4)
脈拍・心拍の異常……西原　崇創　17(4)
呼吸状態・呼吸数・呼吸リズムの異常……波多野拓也・和足　孝之　21(4)
体温の異常……望月　礼子　26(4)
静脈圧……白石　裕一・栗本　律子・的場　聖明　30(4)
意識障害……小島　直樹　35(4)
脱水……鋪野　紀好　41(4)
浮腫……本村　和久　46(4)
肥満，低栄養……来住　知美　51(4)
黄疸……横江　正道　56(4)

第2章　循環器

心不全……平島　　修　62(4)
大動脈弁狭窄症……須藤　　博　66(4)
大動脈弁閉鎖不全症……山崎　直仁　73(4)
僧帽弁狭窄症……藤本　卓司　78(4)
僧帽弁閉鎖不全症，僧帽弁逸脱症……安　　隆則　85(4)
三尖弁逆流症，肺高血圧症，肺血栓塞栓症，深部静脈血栓症……向井　康浩・大門　雅夫　90(4)
急性心膜炎，心タンポナーデ，収縮性心膜炎……宮川　和也・山崎　直仁　95(4)
感染症心内膜炎……梁　　美紗・志水　太郎　100(4)
動脈硬化症，先天性血管異常……山科　　章・草野　良明・荻野　　均　105(4)

第3章　呼吸器

肺炎……喜舎場朝雄　116(4)
COPD，喘息，気胸，縦隔気腫……皿谷　　健　123(4)
胸水……長坂　行雄　129(4)
睡眠呼吸障害……名嘉村　敬　132(4)

第4章　消化器・腹部

腹部の診かた……小澤　尚弥・窪田　忠夫　138(4)
肝臓と脾臓，腹水の診かた―肝硬変を中心に……中野　弘康　142(4)
胆嚢・胆管・膵臓の疾患

……鳥居　旬・小林　健二　148(4)
直腸診……成田　雅　152(4)
後腹膜スペース・腰背部・腹壁・胸壁の診かた
……上田　剛士　158(4)

第5章　感染症
咽頭痛……大和田裕介・柳　秀高　164(4)
旅行者感染症……畑中　志郎・中村　造　172(4)
発熱と皮疹……岩浪　悟・九鬼　隆家　176(4)

第6章　血液・腫瘍
貧血……野溝　崇史　184(4)
リンパ節腫脹……萩原將太郎・島原　立樹　187(4)

第7章　膠原病・筋骨格
関節リウマチ……岩波　慶一　194(4)
全身性エリテマトーデス(SLE)，強皮症(SSc)，
混合性結合組織病(MCTD)…猪飼　浩樹　200(4)
多発性筋炎，皮膚筋炎，抗 ARS 抗体症候群
……吉見　竜介　209(4)
手根管症候群，胸郭出口症候群
……辰巳　徹志　213(4)
頸椎・腰椎疾患……林　聖也　219(4)
肩関節疾患……斉藤　究　223(4)
反応性関節炎
…大可　直哉・頼島　愛・吉田　雄介　228(4)
血管炎，リウマチ性多発筋痛症
……松原　秀史・岸本　暢將　233(4)
痛風・偽痛風・代謝内分泌疾患による骨関節疾患
……須藤　航　238(4)

第8章　内分泌・代謝
甲状腺疾患……石井　大太　244(4)
視床下部・下垂体・副腎疾患
……多和田哲郎・仲里　信彦　249(4)
遺伝性代謝疾患―ヘモクロマトーシス，Wilson 病など
……佐田　竜一　255(4)
膵内分泌疾患……野田香奈子・大久保佳昭　261(4)
ビタミン・微量元素欠乏症……篠浦　丞　266(4)

第9章　腎臓・泌尿器
尿毒症，腎不全…藤島　理恵・谷澤　雅彦　274(4)
電解質異常……五嶋由紀子・竹内　靖博　279(4)

第10章　脳神経・精神
脳神経の診かた……小野　正博　286(4)
めまい……城倉　健　292(4)
けいれん……宮城　哲哉・稲福　徹也　299(4)
筋力低下……難波　雄亮　304(4)
協調運動障害，運動失調……菊本　東陽　311(4)
感覚異常……岩崎　靖　315(4)
脊髄・馬尾障害
…原瀬　翔平・安藤　哲朗・福武　敏夫　320(4)
歩行の異常……西垂水和隆　324(4)
深部腱反射，病的反射……黒川　勝己　331(4)
認知機能低下
…和泉　唯信・高原　実香・丸山　博文　337(4)
髄膜刺激徴候，頭蓋内圧亢進徴候
……立花　久大　341(4)
振戦……内原　俊記　346(4)

第11章　その他
外傷……坂本　壮　352(4)
聴力低下，耳鳴，耳漏……須藤　敏　356(4)
充血，眼底疾患……石岡みさき　362(4)

2026/10/11 17:17:51